



創立25周年記念誌



BUILD THE FUTURE
WITH ACTION AND VISION

国際ロータリー第2550地区
西那須野ロータリークラブ

目 次

クラブバナー・認証状	1
会員・姉妹クラブよせ書	2
思い出のアルバム	3
R. I からのメッセージ	18
創立25周年式典	
前夜祭・式典プログラム	19
前夜祭歓迎挨拶	21
来賓並びに招待者御芳名	25
記念式典	
歓迎挨拶・祝辞	31
表彰 創立会員・第20～25代会長	37
クラブの歩み	43
歴代クラブ会長テーマ並びに方針	47
歴代会長・幹事への感謝状	57
各年度例会プログラム（5ヶ年）	112
年度別出席状況	129
ロータリー財団年度別実績	130
年度別ポールハリスフェロー・準フェロー氏名	131
米山記念奨学会年度別実績	133
会員増減の状況	136
会 員 紹 介	137
あ と が き	146

西那須野ロータリークラブ「バナー」由来



西那須野町も塩原もかつて広大な那須の原野であった。鎌倉幕府三代目の将軍となった源実朝が、父頼朝の那須野ヶ原の狩りを思い浮かべて詠んだ。

武士の矢なみつくらう小手の上に
あられたばしる那須の篠原
(金槐和歌集)

という一首がある。

これから昔を偲んで矢羽を象徴化した。又ロータリーの活動が的を得た活動として推進されることを祈願して、という意味も含めてある。

色彩的にはバックの象徴色は清深さを、コバルトは深遠で澄んだ空、永劫を象徴して、地名のエンジ色は奉仕の理想に燃える象徴色でもある。

(デザイナー 関谷 次男氏)



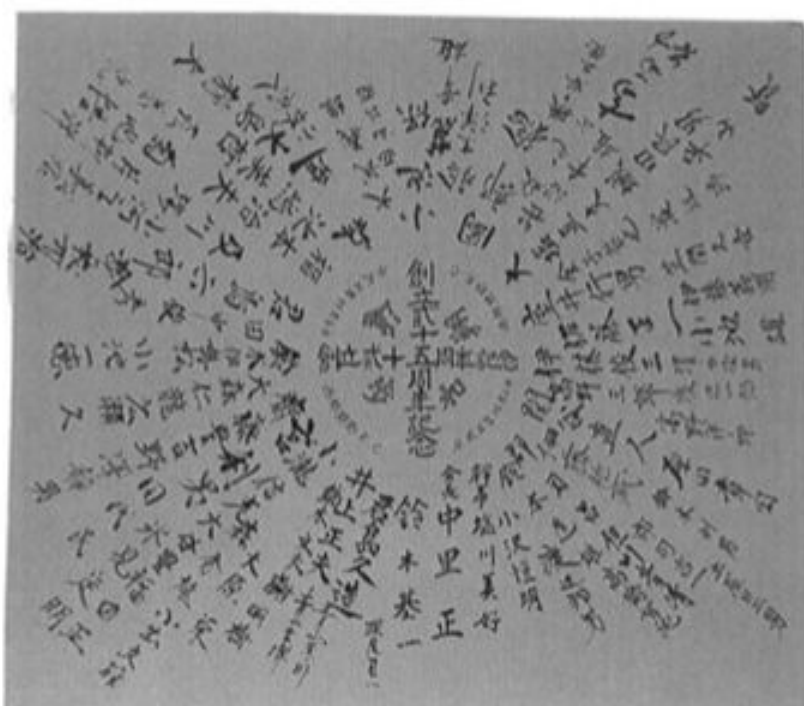
認 証 状 訳 文

この西那須野ロータリークラブは正式に結成せられ、且つその役員および会員を通じ、国際ロータリーの定款並びに細則を遵奉することを誓約することは、本証書を受納することによって立証せられた。よってここに国際ロータリーの会員たることを正式に承認せられ、且つその会員としての権利と特典を享受するものであることを証明する。

その証として国際ロータリーの印章を捺し正規の権限を有するその役員が1971年12月10日ここに署名するものである。

R. I. 会長	アンストG. ブライトホルツ
事務総長	ジョン R. ミーンズ
地区ガバナー	瀧 沢 信 二

25周年記念会員よせ書



姉妹及び友好クラブよせ書





◀ 桃園 R. C 会長
満面の笑み



▲ 両クラブ会長の
記念品交換



◀
桃園 R. C 有志との記念撮影

ニュー塩原高尾舞踊団
のアトラクション



25周年式典



▲ガバナー祝辞



▲両町長に特別寄付の目録贈呈



▲特別寄付目録を受ける合唱団
阿由葉副団長



▲8名の創立会員表彰



◀21代～25代会長表彰

式典参加者集合写真





平成8年10月6日 於ホテルニュー塩原

記念事業



- 特別寄付
米山記念奨学会に対し特別寄付
ロータリー財団に対し特別寄付
西那須野・塩原両町に対し特別寄付
米山梅吉第2記念館建設資金に特別寄付
西那須野少年少女合唱団に対し特別寄付

- 記念講演
講師 金正雄
日本経済新聞論説副主幹兼
編集委員
- 記念演奏
西那須野少年少女合唱団



新座R.Cとの友交クラブ締結



▼盛り上がる懇親会風景



▲齊藤五一 P.G.
の乾杯音頭で懇親会



ガバナー公式訪問



ガバナー公式訪問



5年間のあゆみ



▲東水原 R. C 10周年記念式典に出席

合唱団15周年記念オーストラリア訪問演奏旅行▶



▲異国でチョット趣向
を凝らす中学生



▶
西那須野・塩原
両町中学生24名
をカルフォルニア
へ語学研修に



5年間の歩み



▲東水原 R. C との姉妹クラブ再締結



▲西伊豆ニュー岡部オープン祝賀を兼ね職場見学



▲みどりのまちマラソン大会に
15個の入賞トロフィーを寄贈

国際大会



▲会場正門前で



ボーター役の
その後の
玉の汗の夫
伊原トヨ文 敬心

▲1994年台湾での国際大会
に会長夫妻始め18名が参加



園扶輪社授證35週



桃園扶輪社授證35週年



▲桃園メンバー御婦人方のコーラス



桃園R.C創立35周年記念式典
にP.Gを含め16名が参加



◀天使の唄声
法務大臣表彰に輝く





表彰



ROTARY INTERNATIONAL



One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 0201-3698 USA

Luis Vicente Gay
President, 1996-97

1996年11月13日
西那須野ロータリークラブ
会員各位：

ロータリアンの皆さま：

あなたのクラブが創立25周年を迎えられましたことにつき、皆さまにお祝申し上げます。
あなたのクラブと地域社会にとって、これは記念すべき重要なことでもあります。

あなたのロータリークラブは1971年12月10日に国際ロータリーに加盟して以来、素晴らしい奉仕の道を進んでこられました。この奉仕活動を通じて、あなたのクラブは、多くの人々に希望をもたらしました。創立会員が25年前に抱いたロータリー精神に皆さまが改めて献身して下さることをお願いします。

過去を強調するだけでなく、既に築いた確固とした土台にどうすれば積み重ねていくことができるかを、この機会に、考えて下さるものと思います。この25年間を飛躍台とすれば、未来はさらに栄光あるものとなりましょう。

25年前、創立会員にロータリーが分かち合われたからこそ、皆さまのクラブが誕生したのです。以来、クラブに入会した人は、自分を会員に推薦してくれた誰かからロータリーを分かち合ってもらったのです。25周年に当たって、私は、会員ひとりひとりに対して、地域社会内でロータリアンとして有望な人を少なくとも1名クラブに新会員として推薦するようお願いします。これは、次の25年をスタートさせ、クラブ奉仕の可能性を大いに広げる最適の方法です。

「築け未来を－行動と先見の眼で」を実践し続けながら、皆さまの尽力がすべて実を結びますことを祈っております。

敬 具



ルイス・ビセンテ・ジアイ
会長

Phone: 847-866-3000

FAX 847-866-3178/3390

姉妹クラブとの交歓前夜祭 —プログラム—

と き 10月5日(土)18:30-20:30
ところ レインボーパレス
司 会 郡司 晶佳

- | | | | |
|----------------|---------------------|---------------|--|
| 1. 入 場 | (桃園) | | |
| 2. 開会のあいさつ | 実行委員長 | 鈴木 基一 | |
| 3. 歓迎のことば | 会 長 | 中里 正 | |
| 4. 来訪姉妹クラブ代表挨拶 | 桃園R.C会長 | | |
| 5. 乾 杯 | 実行副委員長 | 鈴木伊勢松 | |
| 6. 懇 親、余 興 | ホテルニュー塩原 | | |
| 7. 閉 会 | ロータリーソング (手に手をつないで) | 高橋 智純
片柳 洋 | |

☆桃園ロータリークラブ

会 長	鄭 宇	清 殿
幹 事	莊 石	汀 殿
国奉長	陳 正	仁 殿
諮問委員	頼 君	勝 殿
会報委員長	呂 光	旭 殿
姉妹クラブ長	徐 木	枝 殿

クラブ出席者名

秋元 正	宮 利男	塩川 美好
深尾 賢一	室井 行男	城田 民男
麓 幸雄	中里 正	鈴木 洋利
郡司 昌佳	西山 公昭	鈴木 伊勢松
池嶋 英哲	小河原 義昭	鈴木 道雄
井上 正夫	岡部 稔	鈴木 基一
磯ヶ谷 正徳	大森 仁龍	高橋 智純
伊藤 俊三	大原 栄	田中 俊彦
伊藤 義明	大塩 直文	田代 民
鍋木 文夫	大武 義維	富田 勤
菊池 悟	小澤 恒明	土屋 日出男
君島 久造	齋藤 豊吉	薄葉 忠
小出 文雄	関谷 直人	渡辺 涉
小瀧 信光	謝 明樹	

交歓前夜祭歓迎のあいさつ

西那須野ロータリークラブ

会長 中里 正

西那須野ロータリークラブ創立25周年記念式典を明日に控え、姉妹クラブの桃園ロータリークラブのお客様方には、ご遠方より大勢おいで下さいまして盛大に歓迎晩餐会を開催できますことは、私たちクラブ一同この上ない喜びでございます。心より歓迎し感謝を申し上げます次第でございます。

台湾桃園ロータリークラブとは今は亡き手塚徳次バスト会長により姉妹クラブの締結、以来合唱団の相互訪問等を行い両国の親善友好をより深いものにしました。特に1987年には総勢125名の子供達と訪問し、桃園文化センターでの演奏会は今でも私の目にしっかりと焼き付いております。

1か月後の11月6日貴クラブ35周年記念式典には16名出席させて頂く予定です。誠に光栄なことに感謝申し上げ式典に花を添えることができると楽しみにして居ります。

今夜は長旅でお疲れかと思いますが、時間の許す限り友情を更に深いものにするため、十分語り合って頂きたいと思っております。簡単ではありますが、歓迎の言葉と致します。



挨拶

桃園ロータリークラブ

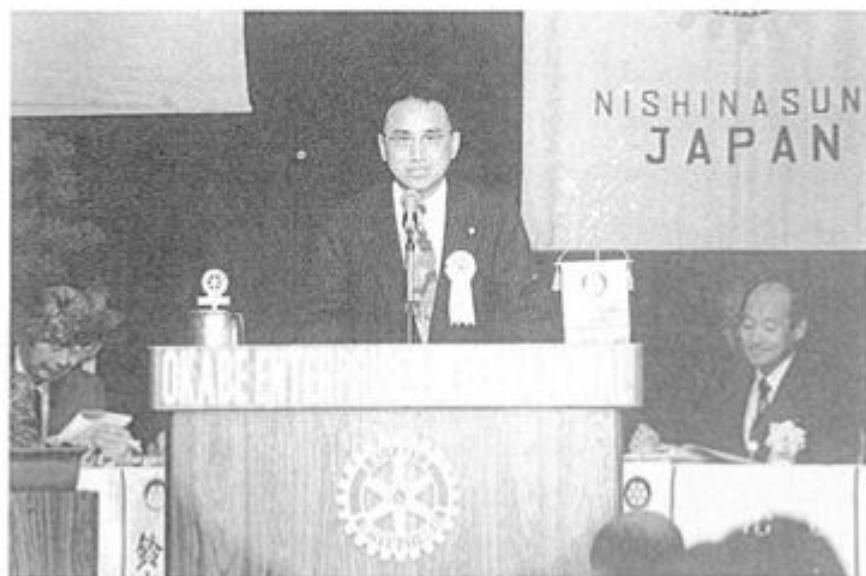
桃園R.C会長 鄭 宇清

本日、西那須野ロータリークラブ創立25周年記念式典の盛大なる前夜祭に参加できまして、桃園ロータリークラブを代表してご挨拶申し上げます機会を得ましたこと、私の最も光栄に存じております。

1985年10月11日 私共、桃園ロータリークラブと西那須野ロータリークラブが姉妹クラブを締結して以来、相互訪問、文化交流を通じて国際理解と親善に果たした役割は極めて大きいものであります。

創立25周年と申しますと、四分の一世紀であります。歴代会長、幹事をはじめ皆様方のご協力により、すばらしい業績をあげられましたことに心より敬意を表します。

西那須野ロータリークラブの皆様には益々ご発展をとげられますよう折念いたしますとともに会員の皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます、私の挨拶にかえさせていただきます。



記念式典プログラム

と き 10月6日(日)
 ところ レインボーパレス
 登録受付 9:00~10:00
 点 鐘 10:00
 司 会 小瀧 信光

1. 点 鐘	会 長	中里 正
2. 開式のことば	実行副委員長	鈴木伊勢松
3. 参加各国国家斉唱		
4. ロータリーソング	「奉仕の理想」ソングリーダー	高橋 智純
5. 来賓紹介	会 長	中里 正
6. 参加クラブ紹介	会 長	中里 正
7. 会長挨拶	会 長	中里 正
8. 式 辞	実行委員長	鈴木 基一
9. 物故会員に黙禱	会 長	中里 正
10. 記念事業披露	事業委員長	小池 保
11. 目録贈呈	会 長	中里 正
12. 感謝状贈呈	会 長	中里 正
(1)創立会員(8名)	代 表	鈴木 基一
(2)歴代会長(第21代-25代)	代 表	郡司 昌佳
(3)例会場、割烹いとう		伊藤 悟
13. 受賞者代表謝辞		郡司 昌佳
14. 来賓祝辞	第2550地区ガバナー	宮崎 柏
	県会議員	郡司 征夫
	西那須野町長	宮本 善夫
	塩原町長	平山 喜助
	桃園R.C会長	鄭 宇清
	総務委員長	伊藤 義明
15. 祝電披露	当クラブ会長	中里 正
16. 友好クラブ締結 (あいさつ)	新座R.C会長	小野 馨祐
17. 閉会のことば	実行副委員長	伊藤 俊三
18. 点 鐘	会 長	中里 正
諸事お知らせ	幹 事	塩川 美好

記念講演・演奏

1. 記念講演

講師	日本経済新聞論説副主幹	金指正雄
演題	総選挙と政局の行方	
講師紹介	式典・会場委員長	岡部 稔
講演		
謝辞	会 長	中里 正

2. 記念演奏

西那須野少年少女合唱団

	司 会	郡司 晶佳
合唱団の紹介	副 団 長	阿由葉ミツエ
演 奏		
	指 揮	中村 芳子
	伴 奏	増村 雅美

出演曲目

さんぽ	気球に乗ってどこまでも	
ふるさと	浜千鳥	
荒城の月	五月の風船	冬の歌

記念写真撮影

—— 祝賀懇親会プログラム ——

と き 13:30~15:30

と ころ レストランシアター オーロラ

司 会 SAA齋藤 豊吉 福本 治夫

1. 開宴のことば	実行副委員長	井上 正夫
2. 挨拶	会 長	中里 正
3. 乾杯	バストガバナー	齋藤 五一
4. 祝宴		

懇親会並びにアトラクション (ホテルニュー塩原)

5. ロータリーソング (手に手をつないで)		高橋 智純
6. 閉宴のことば	副 会 長	小澤 恒明

御来賓並びに御招待者御芳名

<p>R. I. 第2550地区ガバナー バストガバナー バストガバナー バストガバナー バストガバナー バストガバナー バストガバナー ガバナーノミニー 地区幹事 ♪ ♪ 地区会計長 地区資金委員 ♪ 地区委員長 県会議員 西那須野町長 塩原町長 ライオンズクラブ会長 退会者 ♪ ♪ 少年少女合唱団 副団長 指導者 ♪ 割烹いとう 米山記念奨学生 第1分区代理 第2分区代理 第4分区代理 第5分区代理 第6分区代理 第8分区代理 桃園ロータリークラブ 会長 幹事 国奉長 諮問委員 会報委員長 姉妹クラブ長</p>	<p>宮崎 柏 殿 斎藤 五 一 殿 辻 由兵衛 殿 村井 敬 爾 殿 深澤 豊 吉 殿 片柳 定 夫 殿 山浦 虔 一 殿 吉澤 兵 左 殿 館野 弘 一 殿 古橋 家 光 殿 奥山 国 之 殿 稲子 芳 男 殿 西堀 龍 雄 殿 嶋田 政 殿 鈴木 成 雄 殿 郡司 征 夫 殿 宮本 善 夫 殿 平山 喜 助 殿 木村 忠 雄 殿 佐々木 栄 緑 殿 大島 銀 吾 殿 藤野 有 二 殿 阿由葉 ミツエ 殿 中村 芳 子 殿 増村 雅 美 殿 伊藤 悟 殿 熊 青 娟 殿 鈴木 栄三郎 殿 松村 誠 殿 川崎 茂 殿 早間 菊次郎 殿 長谷川 隆 殿 落合 喜 行 殿 鄭 宇 清 殿 莊 石 汗 殿 陳 正 仁 殿 頼 君 勝 殿 呂 光 旭 殿 儉 木 枝 殿</p>
--	--

新座ロータリークラブ

会 長	小野 馨 祐 殿	幹 事	田村 一夫殿	宇都宮南 R. C
幹 事	水野 武 殿		鈴木 孝三殿	〃
前 会 長	金子 幸 男 殿	会 長	川俣 俊雄殿	宇都宮北 R. C
前 幹 事	吉沢 啓 悟 殿	〃	田中 豊治殿	宇都宮陽北 R. C
副 会 長	田中 武 殿	〃	片柳 工 殿	宇都宮陽南 R. C
地区役員	館 芳 郎 殿	〃	飯野豊太郎殿	真 岡 R. C
前分区代理	藤沢 彦 文 殿	〃	御代田信至殿	益 子 R. C
P 会 長	安井 修 一 殿	〃	西田 一之殿	真 岡 西 R. C
親睦委員長	杉 岡 弘 美 殿	〃	麦林 璋久殿	小 山 R. C
プロ委員長	岡 本 比呂志 殿	幹 事	土屋 尚久殿	〃
会 計	赤塚 鉄 男 殿	会 長	渡邊 武 殿	小 山 南 R. C
市議会議長	並 木 平 八 殿	〃	井上 博文殿	小 山 東 R. C
副 幹 事	関 靖 子 殿	〃	大津 信 殿	石 橋 R. C
米山委員長	丹 羽 ひさえ 殿	〃	平岡 一二殿	日 光 R. C
出席委員長	安 部 千 里 殿	〃	榎淵 義雄殿	鹿 沼 R. C
		〃	福田 泰造殿	今 市 R. C
会 長 東郷 肇殿	大田原 R. C	〃	安藤 隆充殿	鹿 沼 東 R. C
〃 深谷 穆殿	黒 磯 R. C	〃	小島 正男殿	栗野西方 R. C
〃 三森 幹雄殿	黒 羽 R. C	〃	小平 隆史殿	鹿沼中央 R. C
〃 大垣 明殿	那 須 R. C	〃	三浦 宏一殿	今市きぬ R. C
〃 坂内 是夫殿	塩原西那須 R. C	〃	栗原 秀夫殿	栃 木 西 R. C
〃 小野田 裕殿	大田原中央 R. C	幹 事	池沢 恬弘殿	〃
〃 古内 久雄殿	烏 山 R. C	会 長	堀越 千又殿	壬 生 R. C
〃 高橋 秀行殿	氏 家 R. C	〃	田澤 真人殿	佐 野 R. C
〃 原田 時近殿	矢 板 R. C	〃	佐藤 勝 殿	葛 生 R. C
〃 手塚 誠殿	高 根 沢 R. C	〃	宮田 進 殿	足利わたらせ R. C
副会長 山本 和弘殿	〃	幹 事	蜂巢 貞美殿	大 田 原 R. C
幹 事 加藤 孝佳殿	〃	〃	佐藤 博 殿	黒 磯 R. C
会 長 和気 康之殿	矢板やしお R. C	〃	加藤 利勝殿	黒 羽 R. C
〃 渡邊 興平殿	宇 都 宮 R. C	〃	四ヶ所義之殿	那 須 R. C
〃 吉田 真一殿	宇 都 宮 東 R. C	〃	小林 八郎殿	塩原西那須 R. C
〃 根本 猛殿	宇 都 宮 南 R. C	〃	津久井一雄殿	大田原中央 R. C

西那須野R. C出席者名

秋 秋 青 青 福 麓 郡 郡 郡 原 平 平 広 池 池 井 磯 伊 伊 伊 伊 金 笠 片 片 川 川 菊 菊	元 元 山 山 田 司 司 司 田 山 瀬 嶋 嶋 上 谷 藤 藤 藤 藤 子 間 柳 柳 音 音 池 池	正 ミ 郎 子 正 雄 佳 子 一 司 賢 ヨ 久 哲 紀 子 夫 德 三 明 ヨ 蔵 也 吉 洋 美 清 代 子 悟 江	君 君 小 小 小 小 小 小 小 宮 森 森 森 室 室 中 中 野 塗 西 小 河 及 岡 岡 大 大 大 大 大 大 小 小	鳥 鳥 林 出 出 池 池 瀧 井 井 里 里 沢 茂 山 原 川 部 部 原 塩 武 武 谷 澤 澤	久 六 武 文 恭 一 信 利 秀 久 行 満 和 静 哲 公 義 瑞 直 義 ト ミ 恒 聡	造 郎 人 雄 子 德 雄 光 男 雄 子 透 男 惠 正 子 男 治 昭 昭 涉 稔 穂 栄 文 維 子 豊 明 子	齋 笹 佐 佐 沢 関 関 謝 塩 塩 塩 城 鈴 鈴 鈴 鈴 高 高 高 田 田 富 薄 渡 渡 渡	藤 沼 藤 藤 田 谷 谷 川 川 田 木 木 木 木 橋 野 野 中 代 田 葉 辺 辺 辺	豊 幸 正 ヨ シ エ 次 直 光 明 美 育 民 洋 伊 勢 道 基 智 三 洋 俊	吉 雄 一 エ 男 人 代 樹 好 子 男 利 松 雄 一 純 郎 三 郎 彦 民 勤 忠 邦 男 涉 子
---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	---

開 式 の 辞

実行副委員長

鈴木 伊勢松



本日は遠隔の地塩原へ、早朝からこの様な大勢の御来賓の方々をお迎え申し上げまして記念式典が開催出来ます事を、心から厚く御礼申し上げます。

それでは只今から、国際ロータリー第2550地区西那須野ロータリークラブ創立25周年記念式典を開会いたします。



“下学上達”への道

鈴木基一

プログラムには式辞と成って居りますが、私実行委員長を致して居ります関係上、その立場から25周年を機に大雑把にクラブの今迄の25年を顧みてそのあり方をお話して見たいと思います。

1971年11月8日創立総会を開き12月10日にR. Iより認証されました。日本で1084番目県内で24番目のクラブで御座居ました。このクラブを誕生させるに当り大変お世話になった方が数名居られます。その方々は皆、故人となっておられますが、彼の国から今日の日を迎えた事を喜んでいて下さる事と思います。それは誰方かと申しますと、先ず一番目は私達の創立時のガバナー滝沢信二さん、宇都宮クラブ初代会長の江部順治さん、それから当時地区幹事であった坂本守さん、宇都宮西クラブの齊藤七五三男さん、この方々に個人的にもクラブとしても大変お世話になったので御座居ます。その滝沢信二さんが最初に私共のクラブに参りました時に、クラブと云うものは何か特長を持たねば駄目ですよ、此のクラブにはアメリカ人の会員も居る事でもあるし国際奉仕で進めてみたらどうだろうと云う示唆がありまして、私が会長の時でしたのでクラブ創成期はほとんどを国際奉仕一辺倒で押し進めました。桃園R. Cは勿論ですが、比国バラニアックR. C、韓国東水原R. C、この三ヶ国のクラブと姉妹締結をし米国バイセリアと友好クラブとなり、今日から又、新座R. Cとの友好クラブが締結されます。

此の間に会員増強の状況は27名で発足したクラブで現在8名の創立会員が残って居ります。現在の会員数は75名ですので2.7倍の会員数に成ったのでありますが、西那須野クラブに在籍した会員は延べ191名になって居ります。そしてアデショナルクラブとして誕生致しました塩原西那須R. Cの会員を含めると、此の地域にロータリアンが100名以上居ります。従って人口比率に致しますと、470名に一名ぐらゐの割合と成ります。これ等の方達が日夜ロータリーの理想に向かって活動されて居る訳で有ります。

次いで当クラブの受けた賞も数多くありますが一番大きな賞は国際ロータリーの「特別世界理解平和賞」で1982年ダラスの国際大会でマッキヤフリーR. I会長から直に頂いて参りました。その他「意義ある業績賞」を1977年、1980年、1984年、1989年、国際奉仕部門と青少年奉仕部門で4回受賞致して居ります。

尚此の間にR. I会長賞も6回頂く事が出来ましたので正直申して良くやったと云う感じは致します。

又、文化的活動では、此のクラブが出来た時宇都宮の坂本勉さん、今は故人になられました第

曲の大家に「奉仕の理想」を邦楽で編曲して頂き北は北海道から南は沖縄迄500枚のレコードを頒布し非常に喜ばれました。地域にあつては西那須野少年少女合唱団を結成したのも特筆すべき文化的事業と申せましょう。合唱団も結成以来20年近くになる訳であります。皆様既に良く御存知の通りであります。が地域の子供達の情操教育に大いに役立って居る所であります。

1979年私が地区のW. C. Sの委員長を致して居りました時、W. C. Sのプロジェクトで1504番比国バラニヤッケクラブの提唱で兔唇の子供の治療に地区及び西那須野・黒羽両R. Cとで参加し現地に行つて実施して参りました。

私達のクラブが創立10周年記念事業として西那須野少年少女合唱団を比国交歓演奏に連れて行つた時、言葉すら発する事が出来ず治療を受けた兔唇の子供達が合唱団の子供と同じように元気に仲間に入つて歌つて居る姿は誠に感動的でありました。苦心してこの事業に取り組んだ甲斐があつたのを見て幸福感いっぱい御座居りました。

1985年11月19～21日ここ塩原で第4回日比ワークショップのホストを行いました。日本から22地区97クラブ比国から4地区16クラブが参加して行なわれました。1984年4月、私のガバナー年度にやはり此の地塩原で地区年次大会を行いました。その折「アジアのロータリーの将来を考える」と題して四ヶ国のパネラーに依つてタウンミーティングを行いました。この時パネラーを務められた台湾の李傳滄P. G 韓国の方炫P. G これ等の方々の仲立に依つて現在の西那須野クラブの姉妹クラブは締結されたので御座居ます。ロータリーの創始者ポールハリスの言葉に「ロータリーの偉大さはその将来にあり、その過去にあるのでは無い」と申されて居ります。四分の一世紀を経た我がクラブも一層の発展を期す節目に當つて居ります。私達は今日の感激を胸に「ロータリーのランプを更に高く掲げよう。そのランプを必要とする人々の為に」を合言葉に今後更にロータリー発展の為に邁進いたします。

“下学上達”への道

学問は手近なところから始めしだいに高尚な水準に達するものであるということ（中国）



歓迎のことば

西那須野ロータリークラブ

会長 中里 正

皆さん、今日は西那須野ロータリークラブ創立25周年記念式典を挙げるに当たり、第2550地区宮崎ガバナーを初めロータリー関係者の皆様、海外、台湾からの大勢のお友達、特別ご招待の県議会副議長郡司征夫様、西那須野、塩原両町長さん、又、この式典で友好クラブを締結する埼玉県新座ロータリークラブの皆様、そして当クラブの皆様、公私ともに大変ご多忙の所、万障繰合せの上当地塩原までお運び戴き、このように盛大に挙行されますことは、会員一同この上ない喜びと感謝の念でいっぱいでございます。誠にありがとうございました。

25年を顧みますると、当西那須野ロータリークラブは、昭和46年大田原ロータリークラブをスポンサークラブとして27名の会員で発足いたしました。創立以来歴代会長のテーマを意として発展してまいりまして、現在、西那須野、塩原をテリトリーとして75名の会員を有し25才の青年から壮年の域に達して参りました。1990年アデショナルクラブ塩原西那須野ロータリークラブを創立させました。数々の業績を残し格調高い表彰をたくさん受賞して居ります。ひとえに皆様方の暖かい友情とご指導に支えられた賜であると深く感謝申し上げる次第でございます。

先日、西那須野ロータリークラブが生みの親であります西那須野少年少女合唱団が演奏活動を通じ数々の業績を残し、特に黒羽刑務所の更生活動の功労を認められ、法務大臣表彰に輝き県下新聞等で大きく報道されました。私達が作り育て見守ってきた甲斐があった事を誇りに思っています。今後の益々のご活躍をご期待申し上げ、おめでとうの言葉をおくりたいと思います。

又、世界のロータリーアンは2000年までにこの地球上よりポリオを絶滅する大きなプロジェクトに参加して居ります。現在はアフリカ地区を重点に活動して居ります。世の中の不幸を絶滅し「みんなが幸せになる為に」私達ロータリーアンは何をしなくてはならないか、悔いなき奉仕を実行して行かなければなりません。

私達はまだまだロータリーの修練は未熟であります。この25周年を契機にクラブ運営に、奉仕活動に、会員一同邁進する覚悟でございます。ご来賓の皆様、今後共宜しくご指導賜ります様心よりお願い申し上げます。ごあいさつといたします。



祝 辞

国際ロータリー第2550地区
ガバナー 宮崎 柏

皆様今日は、西那須野R.C創立25周年誠にお目出度う御座居ます。地区内全会員と共に心からお喜びを申し上げますと共に、ここに祝辞を申し上げる機会を得ました事を大変光榮に存じます。

扱て1971年11月8日大田原R.Cをスポンサークラブとして、27名の会員でスタートし同年12月10日、国際ロータリー加盟承認と成り爾来25年を経ました現在会員数75名と親クラブを追い越して、地区内50クラブの中で5番目の大きなクラブと成りました。残念乍ら私は、来月こちらへ公式訪問する事になって居りますので、御送付頂きました現況報告書に依りまして25年間の輝かしい足跡を申し述べてお祝の言葉と致したいと思ひます。

この25年間例えば出席優秀クラブ表彰を15回、米山クラブ表彰も15回、「意義ある業績賞」を4回、R.I会長賞も6回受けて居られます。創立の翌年の1972年に米国バイセリアR.Cと友好クラブを締結して居られます。そして姉妹クラブとして1972年に比国のバラニヤッケR.Cと1980年、韓国の東水原R.Cと1985年には台湾桃園R.Cと姉妹クラブを締結して居られます。

そして今日此の席で新座R.Cと友好クラブを締結されるとの由、地域では町のマラソン大会、ふれあい祭り、視力障害者への支援、又多年の黒羽刑務所への支援に対し法務大臣表彰を受けるなど沢山の表彰を受けて居られます。

更に1983年には鈴木基一先生がガバナーとなられ地区大会を開催され1990年には鈴木伊勢松氏が特別代表と成り塩原西那須ロータリークラブのスポンサークラブにもなっています。まだまだ沢山の成果を上げて居られますが、以上の業績は各年度の会長さんを始め会員の皆様方の一致団結の結果でありまして、我々のお手本ともしたい所でありまして、此の度の式典を契機として奉仕の理想への邁進と貴クラブの御発展、会員皆様方の御健勝を御祈念申し上げます。祝辞と致します。本日はどうもお目出度う御座居りました。



祝 辞

栃木県議会副議長

郡 司 征 夫

只今御紹介を頂きました副議長の地元の郡司で御座居ます。西那須野ロータリークラブ創立25周年式典が盛大に挙行されるに当り一言お祝を申し上げます。尚只今は永年に亘り西那須野ロータリークラブに御尽力を頂きました鈴木基一初代会長さんを始め歴代の会長さん皆様のご活躍に依りまして25周年を迎えられた訳で御座居ます。「みんなが幸になる為に」と奉仕の精神をモットーにここまで頑張っておられた成果に敬意と感謝を申し上げる次第で御座居ます。ロータリークラブは1905年にアメリカに於て社会奉仕をモットーに設立され、西那須野クラブは1971年に国際ロータリーに加盟承認され今年で25周年を迎えられます。誠にお目出度う御座居ます。心からお祝を申し上げます。

貴ロータリークラブは発足以来友愛と奉仕の理念に基づき明るい社会造りの為に貢献されて参りました。特に少年少女の育成には力を注ぎ西那須野少年少女合唱団の結成やら中学生の語学研修等を実施され大きな成果を上げて居ります事は21世紀に取りまして心強い限りであり誠に喜ばしい事であります。これも一重に中里会長さん始め歴代会長さん会員の皆様の御尽力の賜と深甚なる敬意を表する次第で御座居ます。今後共ロータリークラブ設立の主旨を踏襲され住みよい社会、潤いのある社会の実現に向けてご尽力下さいます様お願い申し上げます。

扱て首都機能移転についてであります、那須地域と西那須を中心とした誘致に向けまして知事を先頭に今頑張っておる所で御座居ます。西暦2010年には新しい都市で国会を開会すると云う運びにも成って居ります。皆様方のご理解と御協力を切にお願い申し上げます。

終りにのぞみ貴クラブの御発展と会員の皆様のご活躍ご健勝を心より御祈念申し上げ祝辞と致します。お目出度う御座居ました。



祝 辞

西那須野町長

宮本善夫

只今御紹介を頂きました西那須野町長宮本善夫で御座居ます。

塩原町さんと当町を代表致しましてお祝の言葉を申し上げます。本日西那須野ロータリークラブ創立25周年記念式典が此のように盛大に催されまして心からお祝い申し上げますと共に、会長さん始め関係者の御尽力に対しまして心から敬意と感謝を捧げる次第で御座居ます。又只今表彰されました方々に対し心からお祝を申し上げ、今後の更なる御指導をお願い致したいと思う次第で御座居ます。西那須野ロータリークラブさんは、国際ロータリーから加盟認証されて以来25周年の歳月を経られ、この間幾多の実績を上げて来られた所で御座居ますが、節目の年を迎えて益々充実した活動が展開されて居ります。

又、個人生活、社会生活を通じて奉仕と徳義を守り延いては国際間の親善を深められ、本地区に確固たる基盤を築いて来られました事は誠にご同慶に堪えません。

奉仕の理念に基づき業界各界の連携を保ちながら地域社会に於て物心両面に渡り数々の御奉仕を頂いて居ります事に対して町と致しまして心から感謝と敬意を表する次第であります。

又、只今は記念事業と致しまして多大の御芳志を頂戴致し心から御礼申し上げます次第であります。又承りますと、当西那須野町と予てから友好関係に御座居ます新座R.Cさんと本日友好クラブの締結をなされるそうで誠にご同慶の至りで御座居ます。

当町はお陰をもちまして人口、行財政共に順調に発展して居ります。本年3月には人口が四万人に達した所であり、塩原町さんと歩調を合せながら今後の北那須地域の発展に努力して居る所であります。これからも明るく住みよい文化の香り高い、緑溢るる心豊かな潤いのある町づくりと共に、高齢化社会に向けた福祉政策の充実と住民サービスの向上に務めて参る所存で御座居ますので更なる御理解と御協力をお願い致す次第で御座居ます。

最後に貴クラブの益々のご発展と会長さん始め会員各位の御健勝を心からご祈念申し上げますお祝の言葉と致します。お目出とう御座居ます。



祝 辞

桃園ロータリークラブ

会 長 鄭 宇 清

西那須野ロータリークラブ創立25周年おめでとうございます。両クラブ姉妹関係を締結してから、早くも11年になりました。この間、両クラブは頻りに交互訪問を行い、両クラブの友好関係を深める事ができました。

貴クラブ会員皆様の親切さとお客様へのもてなし上手の評判は私と我がクラブ会員の心に深い印象を残しました。今回かくも盛大な創立25周年記念式典にお招きいただき光栄と存じます。喜んで参加致しました。

今後は両クラブの共同努力でさらに国際奉仕及び友好関係の一層促進を努めたいと共に、中里正会長の強いリーダーシップのもとで貴クラブの益々の御発展及び会員皆様の御健康と御繁栄をお祈りいたします。

祝 電

創立25周年記念式典のご盛會を心からお慶び申し上げますと共に今後益々の御發展と皆様のご活躍をお祈り致します。

栃木県知事 渡辺文雄 殿

25周年お目出度う御座居ます。貴クラブの益々のご發展を御祈念申し上げます。

鹿沼R.C P.G 石原敬士 殿

西那須野R.C創立25周年記念式典のご盛會を心からお慶び申し上げます。出席出来ず誠に残念です。皆様の今後益々の御活躍を祈念致します。

(株)足利銀行専務取締役

(元西那須野R.C会員) 吉田保夫 殿

西那須野R.C25周年式典誠にお目出度う御座居ます。貴クラブ益々の發展と会員諸兄の御活躍とご多幸を祈念申し上げます。

岩舟R.C会長 石川 剛 殿



表彰関係

創立会員表彰



西那須野RC創立会員

福木治夫君

1996年10月6日
国際ロータリー第2550地区

西那須野ロータリークラブ

貴君は創立会員としてクラブの発展充実に御尽力なされました。特に第23代会長として卓越せる識見と手腕をもって会の運営をなされ、国際奉仕と青少年奉仕の両委員会の協力でテリトリー内の中学2年生24名を国際理解と語学研修を目的にアメリカ・カリフォルニア州に20日間派遣、多大なる成果を収めました。また、出席優秀クラブ、米山への寄付優秀クラブ、会長賞と3部門を受賞しました。

クラブ創立25周年記念式典にあたり、貴君の高邁なる奉仕の精神を讃え深く感謝の意を表します。



西那須野RC創立会員

郡司昌佳君

1996年10月6日
国際ロータリー第2550地区

西那須野ロータリークラブ

貴君は創立会員としてクラブの発展充実に御尽力なされました。特に第21代会長として卓越せる識見と手腕をもって会の運営をなされ、創立20周年記念を大成功に収め、1000回記念の家族例会、桃園RC創立30周年の家族同伴にての記念式典への参加は両クラブの親善を一層固めることができました。

クラブ創立25周年記念式典にあたり、貴君の高邁なる奉仕の精神を讃え深く感謝の意を表します。



西那須野RC創立会員

伊藤俊三君

1996年10月6日
国際ロータリー第2550地区

西那須野ロータリークラブ

貴君は創立会員としてクラブの発展充実に御尽力なされました。特に第9代会長としてロータリー発祥の原点である職業奉仕に重点をおき、堅実真摯な研究と実践に努力を傾注され、ロータリー75周年記念シカゴ大会には13名の代表を送る快挙をなされました。また、貴君は1993～94年度の第1分区代理としてよく職責を果たされました。

クラブ創立25周年記念式典にあたり、貴君の高邁なる奉仕の精神を讃え深く感謝の意を表します。



西那須野RC創立会員

小瀬信光君

1996年10月6日
国際ロータリー第2550地区

西那須野ロータリークラブ

貴君は創立会員としてクラブの発展充実に御尽力なされました。特に第19代会長として卓越せる識見と手腕をもって会の運営をなされ、会員の拡大増強に努力を重ね、塩原西那須野RCの誕生をさせました。また、西那須野庁舎に時計塔の建設、米山功労クラブとして受賞されました。

クラブ創立25周年記念式典にあたり、貴君の高邁なる奉仕の精神を讃え深く感謝の意を表します。



西郡須野RC創立会員

大塩直文君

1996年10月6日

国際ロータリー第2550地区

西郡須野ロータリークラブ

貴君は創立会員としてクラブの発展充実に御尽力なされました。特に第11代会長として10周年記念式典を盛大に挙行し、西郡須野少年少女合唱団比国訪問親善演奏旅行を大成功に導きました。貴君は数少ない「世界理解平和賞」を会長として受賞されました。

クラブ創立25周年記念式典にあたり、貴君の高邁なる奉仕の精神を讃え深く感謝の意を表します。



西郡須野RC創立会員

鈴木伊勢松君

1996年10月6日

国際ロータリー第2550地区

西郡須野ロータリークラブ

貴君は創立会員としてクラブの発展充実に御尽力なされ、第4代会長として発展段階の時に寛やかな雅量と誠意に充ちた行動は会員の信望を集め数々の事業を成功に導かれました。特に鈴木基一ガバナーの下、地区幹事として献身的なご努力をなされました。

クラブ創立25周年記念式典にあたり、貴君の高邁なる奉仕の精神を讃え深く感謝の意を表します。



西郡須野RC創立会員

鈴木基一君

1996年10月6日

国際ロータリー第2550地区

西郡須野ロータリークラブ

貴君は創立初代会長として今日まで超我の精神をもって歴史と伝統ある西郡須野ロータリークラブを築かれました。特に1983～84年度は第255地区ガバナーとして、見事にその大役を遂行されました。献身的な御尽力は我がクラブ有る限り永く銘記されねばなりません。

クラブ創立25周年記念式典にあたり、貴君の高邁なる奉仕の精神を讃え深く感謝の意を表します。



西郡須野RC創立会員

小池保君

1996年10月6日

国際ロータリー第2550地区

西郡須野ロータリークラブ

貴君は創立会員としてクラブの発展充実に御尽力なされました。特に第6代会長として卓越せる識見と手腕をもって会の運営にあたられ、支那クラブ、アメリカ合衆国バイセリヤの訪問団長として、国際理解と親善を深め「意義ある業績賞」をRI会長より受賞されました。

クラブ創立25周年記念式典にあたり、貴君の高邁なる奉仕の精神を讃え深く感謝の意を表します。

例会場表彰

割烹いとう 代表 伊藤 悟君

1996年10月6日

国際ロータリー第2550地区

西郡須野ロータリークラブ

あなたは、クラブ創立以来25有余年におたり、例会の会事を例会場（足利銀行）まで調査・準備され、平成3年からは例会場として従業員一同、例会の趣旨を理解され献身的に会場作り、会事の世話等を致し、会員一同楽しい雰囲気の中で親睦を深めることができました。

クラブ創立25周年記念式典にあたり、記念品を送り深甚なる感謝の意を表します。



クラブ例会場 割烹いとう

第21代～25代 会長の表彰



西那須野RC第21代会長
郡 司 昌 佳 君

1996年10月6日
国際ロータリー第2550地区
西那須野ロータリークラブ

1991～92 会長テーマ

“20周年模見直そう我ロータリー”

貴君は卓越せる識見と手腕をもって円滑な会の運営をなされ、特に20周年記念式典には姉妹クラブの比国、韓国、台湾より多くの友を迎え盛大に国際親善の実を挙げました。多年の懸案でありました例会場変更は素晴らしい例会と親睦活動に貢献されました。

クラブ創立25周年記念式典にあたり、貴君の高邁なる奉仕の精神を讃え深く感謝の意を表します。



西那須野RC第23代会長
福 木 治 夫 君

1996年10月6日
国際ロータリー第2550地区
西那須野ロータリークラブ

1993～94 会長テーマ

“信頼し理解し行動で”

貴君は卓越せる識見と手腕をもって円滑な会の運営をなされ、特に西那須野・塩原両町の中学生24名を国際理解と語学研修のため、アメリカ合衆国カリフォルニア州に20日間自ら引率をし多大な成果を上げられました。バランスのとれたクラブに対する会長賞はじめ出席、米山の3部門の優秀クラブ賞を受賞しました。

クラブ創立25周年記念式典にあたり、貴君の高邁なる奉仕の精神を讃え深く感謝の意を表します。



西那須野RC第22代会長
室 井 行 男 君

1996年10月6日
国際ロータリー第2550地区
西那須野ロータリークラブ

1992～93 会長テーマ

“すすんで参加、奉仕に親睦に”

貴君は卓越せる識見と手腕をもって円滑な会の運営をなされ、特に西那須野少年少女合唱団15周年記念事業として、オーストラリアニューキャスルRCに演奏旅行を実施し友好を深めました。また、会員の意識向上とクラブ運営に力を尽くし、バランスのとれたクラブ運営としてのRI会長賞を受賞しました。

クラブ創立25周年記念式典にあたり、貴君の高邁なる奉仕の精神を讃え深く感謝の意を表します。

西那須野RC第25代会長
伊 藤 義 明 君

1996年10月6日
国際ロータリー第2550地区
西那須野ロータリークラブ



西那須野RC第24代会長
斎 藤 豊 吉 君

1996年10月6日
国際ロータリー第2550地区
西那須野ロータリークラブ

1994～95 会長テーマ

“地域とふれあいロータリー”

貴君は卓越せる識見と手腕をもって円滑な会の運営をなされ、特に両町の高齢者にマッサージ器の配布及び、らくりん座公演において青少年に夢と希望を与えました。これらが評価され社会への思いやりに対するRI会長賞を受賞しました。

クラブ創立25周年記念式典にあたり、貴君の高邁なる奉仕の精神を讃え深く感謝の意を表します。

1995～96 会長テーマ

“真心の奉仕と行動”

貴君は卓越せる識見と手腕をもって円滑な会の運営をなされ、特に地域のニーズに応え、国際医療福祉大学の見学、日本のロータリー発展の基礎を築いた米山梅吉翁、その記念館の見学等ロータリーの精神に基づき相互親睦を図ることができました。創立25周年記念の準備等に献身的に努力され、真心・慈愛・平和のためのRI会長賞を受賞しました。

クラブ創立25周年記念式典にあたり、貴君の高邁なる奉仕の精神を讃え深く感謝の意を表します。

友好クラブ締結あいさつ



西那須野ロータリークラブ
会長 中里 正

国際ロータリー第2550地区西那須野ロータリークラブと国際ロータリー第2570地区新座ロータリークラブとの友好クラブ締結に当たり一言ごあいさつ申し上げます。

前年度伊藤義明バスト会長より友好クラブ締結の準備を進めて参りましたが、25年という大きな節目の年。しかもこの佳き日にめでたく調印の運びとなり誠にめでとう御座います。

两市町は疏水サミットや少年少女合唱団の交流から始まり、現在、災害時に備えての防災協定が結ばれており、親戚同志の市町であります。

我が町より3.5倍の142,000余名の人口をもつ、首都圏の中堅都市と聞いて居りますが、西那須野も今話題の国会移転問題の中心となっているところであり、人口増加は栃木県随一で御座います。

今後ロータリーを通じより一層の親善友好を深め、两市町の益々の発展に寄与することをお誓い申し上げましてごあいさつと致します。

挨拶



新座ロータリークラブ

会長 小野 馨 祐

この度、西那須野ロータリークラブとの友好関係を樹立することになりました新座ロータリークラブの会長でございます。我がクラブは創立以来22年を経過して居りますが、他クラブとの姉妹関係、友好関係を結んだことがなく、今回貴クラブとの友好クラブ締結が最初になります。それ故無経験による不行き届きの段友情に免じて御容赦下さい。今回の友好クラブ締結に際しまして貴ク

ラブの前会長、幹事、現会長、幹事の方々には式典参加、友好締結式に至る御手配と御案内、そして締結約定書まで御指導頂き深く感謝申し上げます。

新座市は埼玉県南西部に位置し南北に細長く、南半分は東京都の中に突き出して居り、首都圏では緑豊かな武蔵野の一角を占めて居ります。人口は現在14万5千人で市内には東武東上線、武蔵野線、西武池袋線又地下鉄有楽町線などが乗り入れて居ります。今後貴クラブとは行政当局の疏水サミットなどのコンタクトを拡大して益々交流が深まり友好関係を確立されることを念願し、簡単ではございますが当市の紹介をさせて頂きました。

貴クラブの益々の御発展と会員の皆様の御健勝を御祈念申し上げご挨拶と致します。

閉 式 の 辞



実行副委員長

伊 藤 俊 三

以上をもちまして、当クラブ創立25周年記念式典を終了させていただきます。本日は公私共に御多忙の所、御来賓の方々始めご招待の皆様のお陰をもちまして、記念式典も盛大かつ厳粛に取り行う事が出来ました。心より厚く御礼申し上げ閉会のご挨拶と致します。

今日はどうも有難う御座居ました。



クラブの歩み (1986～1991年)

西那須野ロータリークラブ

1986～87年度会長

岡 部 稔

西那須野ロータリークラブ創立25周年を迎えるに当り歴代会長、幹事、全会員参加のもと四大奉仕部門の奉仕活動へ常に情熱を傾注し、たゆまざる努力と積極的な奉仕活動が高く評価され、その功績を讃えR. I 会長「特別世界理解平和賞」「意義ある業績賞」「R. I 会長賞」「青少年奉仕活動優秀クラブ」「米山功労クラブ」等、数多くの表彰を受けております事は、西那須野ロータリークラブ会員が一致協力の下にクラブを活力ある奉仕活動へ導き、職業を通して地域社会、更に国際社会へ親睦と理解を深める目的を持って交流の輪を拡大して参った結果の賜と存じます。

私が第16代会長に就任した1986年より第20代富田勲会長年度1991年に亘るクラブの歩みを想い出の中からその足跡を綴って見たいと思います。

栄えある西那須野R. C 会長に就任した私に最初の緊張を与えてくれましたのが7月15日に開催された小竹俊夫ガバナーの公式訪問であり、翌週25日に実施された桃園扶輪社、李伝滄バスターガバナー並びに桃園児童合唱団の指導者である菅、鄭両先生歓迎例会でございました。全会員のご協力を得てスムーズに乗りきることが出来ました。

10月6日には鈴木基一バスターガバナーを実行委員長として西那須野R. C 創立15周年記念式典がR. I 第2550地区小竹俊夫ガバナー始め歴代バスターガバナー、姉妹クラブ、バラニアックR. C、東水原R. C、桃園R. Cの会長並びに会員とご来賓のご臨席を得て盛大に挙行できました事は、当クラブロータリアンによるホスピタリーテイ精神の結集が成し遂げた最大の要因と感謝致しております。

また桃園R. C 25周年記念式典には当クラブより会員並びにご家族21名が参加下され花を添えて頂きました事は、皆様の友情と厚くお礼を申し上げます。

西那須野R. C 5代会長を務めその後鈴木ガバナー年度地区年次大会に於ける実行委員長の大役を見事に果たされた草野栄龍様下の御遷化は、敬愛していた多くの会員に深い悲しみを与えました。謹んで哀悼の意を表します。

小林正治会長年度(1987～88年)にはアジア学院の学生にも米山記念奨学会より奨学金を贈る事に決定され地域の国際交流を大いに促進させ貢献いたしております。

国際奉仕活動にて西那須野少年少女合唱団の10周年を記念して、姉妹クラブ台湾桃園R. C 児童合唱団との相互訪問がなされ合唱団員、更に父兄、ロータリー会員を含む100名に及ぶ親善友好の演奏会が開催され、大変好評を博する青少年交流事業となりました。また韓国東水原

R. C 5周年式典の招請も、当R. C 15周年に来西された熱意に応え、小林会長始め大勢の会員、ご家族が東水原R. C 5周年記念式典に参加して、国際理解と交流を深めることが出来ました。G. S. Eの受け入れによるホームステイ等、小林年度を記念する有意義な奉仕活動が実施されました。

関谷直人会長年度（1988～89年）には姉妹クラブ台湾桃園R. C国際奉仕委員長の立案にて日、中、韓三カ国姉妹クラブ青少年少女台湾訪問による短期学童交歓会が挙行され、関谷会長、富田先生の随行にて地区の青少年少女へ夢と希望を与えることができました。

G. S. Eにて当クラブ地域内より相馬政二君が米国に派遣されたために壮行会をいたしました。又「近くて遠い国」と申されてきました、韓国ソウルに於て国際大会が1989年5月21日より開催され、我々ロータリアンが率先して近くて親しい国に致さねばなりませんとの呼びかけに多くの会員が参加され真の国際交流と親睦が実現されました。

小滝年度（1989～90年）発足当初に「夏期交換学生」区内13名の学生受け入れが予定され当クラブに於いては内3名のホームステイホストが実施され、米国の夏期交換学生の帰国に合せ当クラブ渡辺一郎会員の令嬢貴代美さんが約一ヶ月間米国にてホームステイを経験され国際親善と交流を深められました。東水原R. Cを迎えての姉妹クラブ再締結式を9月30日に挙行致しました。11月には台湾桃園R. C御一行11名が来西され歓迎会を催しました。小滝年度における最大の業績は、同一地域内に新クラブの設立をと云う石原敬士ガバナーよりの強い要請にて、鈴木伊勢松特別代表をトップに君島六郎、岡部稔、関谷直人、各バスト会長と富田勸会長エレクトの四名が拡大補佐として任命委嘱され、1990年3月20日に塩原西那須R. C創立総会が開催され6月に大賞会長木下幹事の下チャーターメンバー29名にて栄えある塩原西那須R. C認証状伝達式を挙行致しました。

富田勸会長年度（1990～91年）はクラブ創立20周年記念を迎える前年でもありその準備の為に20周年記念式典の組織を固め委員会編成を致し万全の準備を整えました。又、台湾R. C会員の歓迎会、アジア学院米山奨学生2名の帰国並びに新入生歓迎交流会等がございましたが、富田会長の特筆すべき奉仕活動は長年に亘る日本とフィリピン両国の地区対地区による、日比ジュニアテニス交換委員として青少年奉仕活動に献身的なご尽力をされ、多くの成果を取めてこられました事は、歴代会長の残された業績と結び合い、青少年少女の心に夢と希望を永遠にもたらず事と存じます。歴代会長幹事会員の皆様ありがとうございました。



小林会長年度クラブ最高令者三森会員米寿祝を受ける



クラブ5年間のあゆみ (1991～1996年)

西那須野ロータリークラブ

1991～92年度会長

郡 司 昌 佳

西那須野ロータリークラブは昭和46年11月に創立し、当初会員27名で発足して以来、早くも今年で25周年を迎えるに至り、人に例えれば、今や社会人とし、未来に向け若さと活力をもって、伸びゆく人生の最高の時であるといえます。

また、4分の1世紀が矢のように過ぎゆき、我々のクラブも会員数75名と、創立時の2.8倍と大所帯のクラブに成長し、立派に奉仕活動を継続して展開することが出来ますことは、会員の努力と、奉仕の精神によるものと、衷心より厚くお礼申し上げます。

名誉ある当クラブの会長は、1991～92年 郡司、1992～93年 室井、1993～94年 福本、1994～95年 斎藤、1995～96年 伊藤の各氏が務めております。

ここに歴代の会長を代表して、1991～96年迄の5年間の当クラブのあゆみを、顧みたいと思います。

(1991～92年度の活動)

*1991年度、昭和46年チャーターナイト時、コケラ落としとして利用させていただいた、ホテルニュー塩原において、創立20周年、記念式典を盛大に挙行政致しました。

姉妹クラブのフィリピン、パラニアックR.Cを初めとし、韓国東水原R.C、台湾桃園R.Cより、大勢のご参加をいただき、総勢550名余の来賓のご臨席のもとに、盛大に開催することができました。

*20周年記念事業として、「らくりん座」の公演を、小学生を対象に町民ホールにて開催し、満席の入場者を数え、成功裡に公演を終了致しました。

*初例会より21年後の1,000回例会までの間、長年にわたり例会場を提供いただいた、足利銀行西那須野支店より、割烹「いとう」へ例会場を移すことに致しました。その折に、長年の間例会場を提供いただいた足利銀行に感謝して、家族例会を兼ねて御礼の会を開催致しました。

*台湾の桃園R.C30周年記念式典には、家族同伴にて参加致し親睦を深めて参りました。

*2550地区会報優秀クラブに入賞致しました。

(1992～93年の活動)

*西那須野少年少女合唱団の15周年記念事業として、オーストラリア、ニューキャッスルR.Cの協力を得て演奏旅行を実施、友好を深めました。

*黒羽刑務所ロータリー文庫へ150冊の書籍を寄贈致し、更に老人ホーム母智ヶ丘入所者全員

に、按摩機（笠間会員寄贈）を配布致しました。

* 韓国 東水原 R. C 10周年記念式典には、夫人同伴で出席致しました。

* 例会中の禁煙もようやく定着しました。

（1993～94年度の活動）

* 西那須野、塩原中学生24名をアメリカカリフォルニア州に20日間の日程で、国際理解と語学研修のため会長自ら引率し、子供たちに大きな夢と希望を与え、多大の成果をあげることが出来ました。

* 渡辺一郎会員の次女 恭子さんは、アメリカに夏期交換学生として、留学しました。

* 台湾にて開催された国際大会には、夫人同伴で18名が参加し、桃園 R. C を親善訪問しました。

（1994～95年度の活動）

* 家庭集会を久しぶりに実施。10班に分かれそれぞれ個人宅で開催、職場見学、五洋建設、日本エービーエス橋木工場等を見学研修致しました。

* 阪神大地震の罹災者に見舞金を贈り支援致しました。

* らくりん座公演を那須野が原ハーモニーホールで開催し、好評を得ました。

* 韓国東水原 R. C との姉妹クラブ締結期限の5年が経過したため5名を韓国に派遣し、姉妹クラブの再締結をして参りました。

* この年会員実増8名を数え、前年比12.5%という驚異的な増強を達成しました。

（1995～96年度の活動）

* 黒羽、塩原、西那須野の3クラブ合同例会に、地区クラブ奉仕委員長の足利東 R. C の中村福蔵氏を招聘し、記念卓話をいただきました。

* 国際医療福祉大学の見学研修会を実施しました。

* 移動例会は79.4%の高い出席率を維持しました。

* 1泊2日で西伊豆ニュー岡部オープンのお祝を兼ねて、研修会を行い「米山梅吉記念館」見学と翁の墓参を致して参りました。

* 当クラブ岡部 稔会員の次女真由美さんが、夏期交換学生としてアメリカに留学しました。

* 黒羽刑務所への書籍寄贈を長年続けた奉仕活動を認められ、東京矯正管区長より感謝状を贈られました。

* 当クラブが生んだ、西那須野少年少女合唱団が、黒羽刑務所への長年にわたる慰問演奏活動の成果を認められ、法務大臣の名誉ある表彰を受けることが出来ました。

クラブにとっても大変名誉な事であります。

当クラブの5年間にわたる足跡の内、主要活動を列記致しましたが、その時々々の会長幹事、各委員長を初め、全会員が一致団結し、協力した賜ものと存じます。

以上のような行事、活動はロータリーの精神、奉仕の団体であるからこそ出来たのだと思います。

ロータリーは永遠に続きます。今後ますます隆昌の西那須野ロータリークラブであるよう祈念致します。

歴代クラブ会長テーマ並びに方針 (第22代～26代)



＝1992～93年度会長方針＝

「すすんで参加 奉仕に 親睦に」

西那須野ロータリークラブ

会長 室井 行 男

1992年～93年度西那須野ロータリークラブ22代会長に就任しまして一言ご挨拶申し上げます。昭和46年11月創立以来輝かしい歴史の数々を重ね、歴代の会長、幹事の各位が伝統を守ってきた、この西那須野ロータリークラブの会長に就任することになりました。会員の皆様の御協力を御願い致します。

前年度は郡司直前会長の下、輝かしい20周年記念式典及び事業を姉妹クラブの、比国バラニヤッケR.C、韓国東水原R.C、台湾桃園R.C、のメンバーの皆さんをお迎えして盛大に挙行することが出来ましたことは、郡司直前会長及び佐藤直前幹事のご努力並びに会員皆様の心から成るご協力の賜物と感謝致します。

20周年という成人式を終わって愈々大人の仲間入りをする当クラブで御座いますが、大人としての第一歩を恥ずかしくないよう踏み出して載きたいと思えます。

1992～1993年度国際ロータリー、クリフ・ダクターマン会長は“まことの幸福は人助けから”と云うテーマを掲げ、均衡の良く取れたロータリープログラムの全体を強調すると申され、地球環境の保全、高齢者への思いやり、青少年への関心、世界社会奉仕、親善と平和の推進…等の重点施策を掲げ、私たちの任務は“均衡の良く取れたロータリープログラム”を推進することであると述べられています。そして均衡の良く取れた各プログラムの為に会長賞プログラムが計画されました。当クラブでも会長賞プログラムに添うような奉仕を進めて行きたいと考えております。

当クラブも20周年の節目を迎え愈々21年目に入る訳ですが、年数を得たクラブに有りがちなマンネリ化が進んでいるように思われます。その第一が出席です。ロータリーは出席することが第一義です。出席なくしてはクラブ奉仕も、親睦もありえません。そこで私はこの年度クラブ会長テーマと致しまして「すすんで参加 奉仕に親睦に」と掲げました。兎に角R.I会長の云うところの“まことの幸福は人助けから”も参加しなければ実現致しません。ロータリアンの第一義は参加すること、即ち出席です。クラブ奉仕に致しましても職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕にしましても参加しなければクラブの実績は上がりません。兎に角出席第一に考えた

と思います。かつて当クラブは常に地区内では出席率ベスト10以内だったので不可能なことではありません。

次に、本年度は第一分区のI.Mのホストを務めなければなりません。分区内の年に一度の勉強会で、そのホストを仰せつかったのでございますので、会員皆様の多大のご協力を載いて無事その務めを果たしたいと考えております。その為の実行委員会も近々バスト会長の皆さんに、ご相談申し上げ編成したいと考えております。

尚、更に10月には姉妹クラブの韓国東水原R.Cの10周年記念式典が行われます。昨年当クラブの20周年記念式典にも多数のメンバーが参加して戴きましたので、本年度はそのお礼も兼ねて多くの方の参加を希望して止みません。

更に西那須野少年少女合唱団が、創立15周年を迎え、その記念事業としてオーストラリアに演奏旅行をする事が合唱団の理事会で決定したそうでございまして、当クラブでも内々でその後援方のお話がございますので、4月の演奏旅行までには理事会で良く検討して載いて、どの様な後援方法を探るか決定して載きたいと思ひます。

亦、バイセリアR.Cとの交流も暫く途絶えておりましたが、過日のクラブ・アッセンブリーの際に、バイセリヤと青少年の交換を考えて欲しいとの要望もありましたので、その点についても会員の皆様のご意見も伺って、実現できるものなら実行したいと考えております。

クラブと致しましては、R.I会長のいわれる委員会の活動をより一層活発に進めて行きたいと思ひます。そして何よりも至上の命であります会員増強でございまして、増強委員会とも良く検討して増強の方法を、家庭集会方式にするか？委員会単位と申しますか、兎に角、本年度は1年を通じまして、増強の実を挙げたいと思ひますので、会員の皆様の一層の御努力をお願い致します。

兎にも、角にも歴代会長、幹事さん、会員の皆さんが築き上げてきた、この伝統ある西那須野ロータリークラブの20年の実績を汚さぬよう、頑張るつもりですので会員の皆様よろしくお願ひ致します。



少年少女合唱団15周年記念事業
オーストラリア演奏旅行に同行し

国際ロータリー会長



クリフ・ダクターマン

1992～1993年度

まことの幸福は
人助けから

地区ガバナー



村井敬爾



＝1993～94年度会長方針＝

「信頼し、理解し、行動を」

西那須野ロータリークラブ

会長 福本 治夫

1993-94年の西那須野R. C 23代会長に、私を選んで下さったことは光栄のいたりであります。

1971年12月に創立鈴木基一バスターガバナーの熱意と奉仕・創立会員のご協力により創立された当クラブを、歴代の22代までの会長・幹事そして会員の皆様の御努力があつて今日を迎えることができ感謝しております。

今日までの一年間は、前年度会長の室井行男氏と宮前幹事にご指導を頂き、たいへん有り難く思っております。昨年度は、クラブが創立に協力した西那須野少年少女合唱団のオーストラリア・グリーンキャッスル市における合唱を通して、将来の日本を背負って行く少年少女65名（含む団員の兄弟）と保護者36名そして指導者5名、さらに団長として前クラブ会長郡司昌佳氏・室井行男前会長が参加され、グリーンキャッスル市のR. Cとの交流をされ、立派な成功をおさめられました。

ところで、現在の社会は不透明な時代といわれています。この時にこそ、R. I 会長のテーマ「行動に信念をー信念は行動に」が私たちのクラブ会員に求められていると思います。今こそ私たちは、この世界そして地球が抱えている大きな課題に対して、思考するだけでなく決断し、できることから行動を起こさなくてはならないのであります。

深澤豊吉ガバナーは「それぞれの音色ーそしてハーモニー」という年度指針を与えて下さいました。それはクラブ会員の個性を尊重しながらクラブ全体が1つのメロディを構成し、さらには地区全体の各クラブの個性化と地区の全体が四大個性部門でハーモニーを構成していくようにすることが大切であると私は受け止めています。

当クラブには、第2550地区での諮問委員として鈴木基一バスターガバナー、第一分区代理として伊藤俊三バスター会長、地区委員として関谷直人バスター会長などの地区委員がいて下さり、その方々に対しても積極的な協力を致さなければならないと思います。

四大奉仕委員会の計画の中にこれらのテーマが浸透し、会員の皆様の力で以下のことを含めてプロジェクトが出来ますように願っています。

1. 特にクラブ会長選任して下さった総会において表明しましたように、室井年度の国際奉仕と青少年奉仕の両委員会の協力でご準備されました、テリトリー内の中学2年生29人を対象とした国際理解と語学研修、テリトリー内の両町教育長より推薦された中学英語教師2名の国際理解と語学教育法研修を、7月21日より8月10日の日程で実施する予定です。生徒や教師にとって有意義な研修になり、また事故なく目的を果たせるように、準備を進めて致したいと思います。

2. 秋にはクラブ有志により東欧諸国の訪問を計画しています。社会主義社会ではどのように企業の自由化が進行しているのか、そこにどんな問題があるのか、その為にはどのような苦勞があるのかなどについて、創立されて日の浅いR.Cを訪問し研修していきたいと思います。

また、1994年6月に台湾国台北市で開催されるR.I世界大会には姉妹クラブの桃園R.Cへの訪問を重ね積極的に参加したいと思います。

3. また創立以来の集められている資料の整理を進めたいと思います。幸いに西那須野医院の部屋を借用し保存されてきましたが、この資料室に保存されてきた貴重な資料を、会員が利用しやすいように整理ができたと思います。

4. クラブ奉仕を通して会員の相互理解をより一層深め、例会の出席が楽しい時間にするために、少なくとも月1回くらい楽器演奏者を迎え音楽を聞きながら例会ができればと思います。各会員はご自分の事業所で精神的、時間的にご苦勞が多いと思われそうですが、例会をできるだけ楽しい時間にできれば幸いです。

これらのプログラムを成功させるためには、クラブ会員の時間的奉仕とスマイルボックスによる財政的なご協力がなければできません。米山奨学生であるアジア学院の研修生との交流を卓話を通して、また食事を通して相互理解ができればと思います。そのためにも会員の皆様の例会出席をお願い致します。幸いにも、室井年度における関谷出席委員長が例会出席についてよい習慣を残して下さったので、これを引き続いて大事にしていけたらと思っております。

最後に、このようなクラブ会員のハーモニーは、会員増強へと進展していくのではないのでしょうか。この1年間楽しい例会になるために、できるだけ奉仕を致したいと思っております。これらのことを達成するために、有能な一人一人の皆様が協力を惜しみ無くして下さい、何倍もの行動が起こせます。その行動は地域社会に、よりハーモニーした音になって広がっていくと思います。

皆様のご健康と会員の事業が豊かになられるように共に頑張りましょう。よろしくお願い致します。福本年度の小池幹事には、特にご協力をお願い致します。



中華民國台湾での国際大会に参加しての一コマ

国際ロータリー会長



ロバート・R・バース

1993～1994年度

行動に信念を、
信念を行動に

地区ガバナー



深澤豊吉



＝1994～95年度会長方針＝

「地域とふれあい(ロータリー)」

西那須野ロータリークラブ

会長 齋藤 豊吉

1994～'95年度の新しいロータリー年度を始めるに当り、会長就任の御挨拶を申し上げます。昨年12月、高野三郎さんの御病気による辞退に伴い、会長指名委員会により、急遽1994～95年度の会長に指名されました。大変光栄な事ではありますが、準備不足とロータリーに対する知識不足は事実でございます。しかし、その重大な任務と責任を痛感致しております。諸先輩の御助言、御指導と会員皆様の絶大なる御協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

第2550地区、片柳ガバナーは地区の方針として次の事をあげております。

- A. R. I テーマ「友達になろう」の理解と推進
- B. 社会への思いやり支援チームを活用し、クラブレベル、地区レベルでの奉仕プログラムの実施
- C. ロータリーをやさしく、楽しく、明るくやっつこう。

以上の3つの事柄を踏まえ、そして私の年度にはこれといった行事はございませんので、地域の事、西那須野R. C.の事を見つめ直す一年にしたいと思います。

第一にロータリーが何を与えてくれるのでは無く、ロータリーで何を得る事が出来るかを考えてみたいと思います。クラブ奉仕委員会を中心に楽しいロータリー、楽しくなる例会を掲げ、それには先ず出席が第一に挙げられ、そして参加する事によって多くの人との出逢いと友達を得る事が出来るでしょう。ロータリーに行ったらつまらないでは無く、自らが楽しむ事が出来る、そんな集まりになったら、とても素晴らしいクラブではないかと考えます。

第二に市や町が我々に何をしてくれるかでは無く、もう一度ロータリーが地域社会に何が出来るかを考えてみたいと思います。

今年度、R. I 会長(ビル・ハントレー)の「友達になろう」のテーマの中で地域の関心事に「我々が皆、自分の地域を誇りに思うのは、まさに当然の事です。しかし、あまりにも久しく地域で何が起きているのか考えなかったのではありませんか？ロータリーが地域社会において、もっと十分に目に見えて理解される事が、必要だと考えています。しかし、ロータリーの理想の潜在力をどのようにして、地域の指導者に理解させていますか？市民に対してどうしたらもっと目覚ましい影響力を及ぼす事が出来るでしょうか？我々は、この地域を見て次の様に言わなければなりません。何が期待されていますか？何が必要ですか？我々はどうしたら役

に立つ事が出来るでしょうか？」地域の本当のニーズを見つける事がロータリーの存在価値を高める事だと多くの問題を投げかけております。社会奉仕委員会を中心に一年間何が出来るかを考え行動して行きたいと思いをします。

我々のふるさとに昔からあった相互扶助と安定した人間関係を今一度考え直し、弱者に対する援助も、お金と制度だけで後は頼みないで良いのか。私達はより良い地域を創り上げる為にも、信頼社会の意味をここで考え直してみる事も大切な事でしょう。

また、職業奉仕の中でロータリアンとして自分の仕事を通して、自分の企業を通して、地域社会に何が貢献出来るか、何が必要かを見つめ直してみたいと思いをします。

第三に、国際奉仕に特に出色している、我西那須野R.Cの歴史に一ページを加えるように、福本年度に実行された、中学生のアメリカ訪問、バイセリア訪問のお返しに、バイセリアとの連絡の結果によりますが、今年是我西那須野に訪問を受ける事になった場合の歓迎と、その受入れに全会員の協力によりその責任を果たして行きたいと思いをします。

以上、ロータリーの四大奉仕部門の活動を中心に会長方針と致しまして、テーマを「地域とふれあい（ロータリー）」として身近な関わりあいを考えて行きたいと思いをします。

伝統ある西那須野ロータリークラブの駅伝ランナーと考え、福本年度からバトンを受け、次期伊藤年度にバトンを渡すまで、与えられた区間を無事に完走出来る様、皆様の御指導、御協力を仰ぎ走り続けますので、宜しくお願い申し上げます。



らくりん座公演 ハーモニーホールで



西那須野、塩原両町の高齢者に笠間会員の奉仕によりマッサージ機の寄贈を行う

国際ロータリー会長



ビル・ハントレー

1994～1995年度

友達になろう
BE A FRIEND

地区ガバナー



片柳定夫



＝1995～96年度会長方針＝

「まごころの奉仕と行動」

西那須野ロータリークラブ

会長 伊藤 義 明

1995～1996年度の新しいロータリー年度にあたり、ご挨拶を申し上げます。

輝かしい歴史と伝統ある西那須野ロータリークラブ会長に浅学非才を顧みずお引受けする事になり、身の引き締まる思いでございます。会員の皆様の暖かいご指導、ご協力をお願い申し上げます。

ハーバード・G・ブラウンR.I会長は、「真心の行動 慈愛の奉仕 平和に挺身」と発表されました。第2550地区、山浦慶一ガバナーは、R.I会長テーマに沿い、たくさんの奉仕の中で特に実践したい事項として、

1. 障害者への思いやりの奉仕
2. 清潔な街、交通安全な街づくり奉仕
3. いじめをなくす人づくり奉仕

の三点を目標方針として、テーマを「持てる力を更に伸ばそう」と致しました。

今年はロータリーが誕生して90年、戦後50年という歴史的節目の年であります。今、日本は飽食の時代といわれる程豊かになった反面、政治経済の不安定、加えて阪神大震災、サリン事件、正気の沙汰とも思えないオウム問題など考えなければならない事が沢山ある時、私は「真心の奉仕と行動」をテーマにし、身近な問題から取り組んでみたいと思います。

ロータリーは個人の奉仕を大切にしている団体であり、理想をもって奉仕を志す人の集まりであります。この原点を忘れると他のサービス団体と異なるところがなくなります。私はシニアアクティブの会員であり、古希ももうすぐですが、人生はいつもこれからと思いながら行動して参りました。真心とは、信念を吐露し、約束を守り、自分の言葉に責任を持つという生き方であり、ロータリー哲学の「思いやり」にも通ずるものだと考えます。

1. 真心の行動

○家庭の正常化（家庭を見直しする必要があるだろうか）

家庭は社会の基礎単位であり、家族の有難さと信頼しあえる雰囲気作り、高度の道德感を養い、家族ひとりひとりを大切にし、親という言葉が尊重されるようにしよう。

○職場と近隣に、模範的（四つのテスト）な真心の奉仕に心がけましょう。

2. 会員増強と楽しい例会

○若い会員、婦人の入会を進めたい。毎週の例会は、ロータリアンの貴重な時間を提供できる価値のある例会にする必要があり、自己研鑽の場にした。

○ロータリー「心のかけ橋」という本に先達

村田省蔵さんが、「世俗の中での戦いに疲れた人々が一週一回集まり素裸になって背中
の垢を流し合う これがロータリーだ」といわれました。砂漠の中のオアシス それがロータ
リーだと思います。

3. 地域に密着したロータリー活動

各委員長さんからの発想に基づく計画書により実施したい。

4. 創立25周年の準備年度

事業を成功させる為の足固めとしたい。

以上、スムーズな形で次期中里会長年度へと引き継ぎたいと考えております。その為には先
輩及び皆様を十分に聞き、理事会を最終決定機関として各委員長さんと融和を図りながら、
人生一度の天から与えられた職務と考え、一生懸命頑張る所存でございますので、宜しく御協
力をお願い申し上げます。



財団法人 米山梅吉記念館

国際ロータリー会長



ハーバート・グラハム・ブラウン

1995～1996年度

心をこめて、

地区ガバナー



山浦 虔一



＝1996～97年度会長方針＝

“みんなが幸せになるために”

西那須野ロータリークラブ

会長 中 里 正

1996～97年度、節目のある新しいロータリー年度を迎えるに当たり、会長就任のご挨拶を申し上げます。

西那須野ロータリークラブは創立以来伝統と歴史があり、すばらしい業績を数多く残されて今日に至っております。その栄えある西那須野ロータリークラブ第26代会長にご指名を戴き身にあまる光栄と責務の重大さに身の引き締まる思いを致しております。諸先輩の方々が今日まで営々として築き繁栄してこられた業績を汚す事なく、未来に引き継ぐべく微力ではありますが一生懸命努力精進致します。バスト会長並びに会員の皆様の友情とご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。

R. I 会長テーマ、「築け未来を行動力と先見の眼で」第2550地区、宮崎ガバナーのテーマ「悔いなき奉仕を」でございます。私は「みんなが幸せになるために」をテーマにしました。私達人類の共通の願いである平和な楽しい幸せな生活、私達ロータリアンとしての願いでもあり目標でもあります。私達ロータリアン一人一人が何ができるか、何をしなくてはならないのか皆で考え、そして行動する年度にしたいと思っています。

国際ロータリー会長、ルイス・ピセンテ・ジアイ氏はロータリアンを1枚1枚のレンガに例えて、建物はレンガの積み重ねであり、より大きな建物にはより多くのレンガが必要である。健全な建物を支えるには頑丈な基礎が必要であります。堅固な土台は生きている組織である。ロータリーの真価はいかに行動するかであると申されております。私達全世界のロータリアンが取り組んでいる「ポリオプラス」は代表的な行動であります。必ず成功させなくてはなりません。私は心より成功を願う一人であります。1日も早く撲滅宣言がされることを期待しております。

「幸せは待つのではなく掴むものである、思い残しの無いように慎重に計画して大胆に行動をして下さい」と、宮崎ガバナーは申されております。7項目の目標が発表されました。私達ロータリアンはその目標達成に最大の努力を致しましょう。

当クラブの今年度の目標はクラブ創立25周年記念事業があります。歴史の1ページを飾る年であり歴代いろいろとお世話になった方々、また遠い諸外国の友達、ともに喜びを分かち合うべく鈴木P. Gを中心に諸準備をしております。また西那須野の開拓者、私たちの先代が今の繁栄と生活の原動力を築いた「那須疏水」（日本三大疏水の一つ）が縁で、当町との防災協定を締結した埼玉県新座市新座ロータリークラブとの友好クラブの締結、姉妹クラブであります

台湾桃園ロータリークラブ35周年祝賀への参加と大きな行事の重なる大変な年度であります。

特に25年を顧みて創立時は、栃木、茨城、群馬、新潟の四県が同一地区でしたがこの年に分割され栃木、茨城の二県となり、現在は栃木のみで一地区となっております。私達はその歴史の上に立っているのです。会員ご婦人全員のご参加を戴き積極的に親睦活動と国際親善を大いに深めて戴き実りある25周年を飾ることができるものと確信を致しています。

クラブ運営と活動につきましては会員皆様のご意見と各委員会の計画に、より活発な活動が成し得ますよう、会長として誠心誠意クラブ発展のために微力ではありますが、努力することをお誓い申し上げます。歴代会長を始め理事役員、諸先輩方のご厚意と友情を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶と致します。



国際ロータリー会長



ルイス・ピセンテ・ジアイ

1996～1997年度

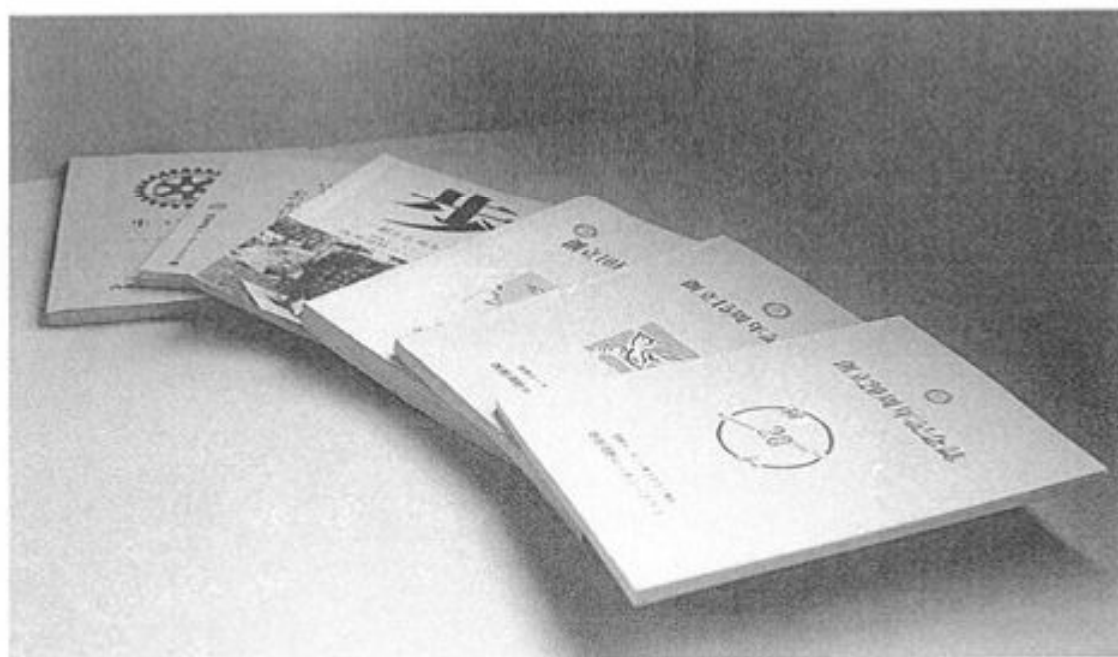
「築け未来を
行動力と先見の眼で」

地区ガバナー



宮崎 柏

歴代会長・幹事への感謝状



歴代会長・幹事及会員数

	年 度	会 長	幹 事	会員数
初 代	1971年12月～72年 6月	鈴木 基一	藤森 武雄	27 ^名
2 代	1972年 7月～73年 6月	鈴木 基一	小出 正夫	31
3 代	1973年 7月～74年 6月	宮沢 勝	(梨本 欣司) 小池 晃	31
4 代	1974年 7月～75年 6月	鈴木伊勢松	郡司 昌佳	45
5 代	1975年 7月～76年 6月	草野 栄龍	古山 正	47
6 代	1976年 7月～77年 6月	小池 保	小瀧 信光	53
7 代	1977年 7月～78年 6月	小出 正夫	小林 正治	53
8 代	1978年 7月～79年 6月	佐藤 悦郎	土山 幸三	57
9 代	1979年 7月～80年 6月	伊藤 俊三	室井 行男	61
10 代	1980年 7月～81年 6月	君島 六郎	関谷 直人	62
11 代	1981年 7月～82年 6月	大塩 直文	小澤 恒明	63
12 代	1982年 7月～83年 6月	森 利男	鈴木 洋利	70
13 代	1983年 7月～84年 6月	城田 正男	高瀬 千治	75
14 代	1984年 7月～85年 6月	井上 正夫	三森 美夫	75
15 代	1985年 7月～86年 6月	手塚 徳次	佐々木栄緑	73
16 代	1986年 7月～87年 6月	岡部 稔	鈴木 道雄	69
17 代	1987年 7月～88年 6月	小林 正治	室井 行男	67
18 代	1988年 7月～89年 6月	関谷 直人	池嶋 英哲	68
19 代	1989年 7月～90年 6月	小瀧 信光	薄葉 忠	68
20 代	1990年 7月～91年 6月	富田 勤	金子 哲也	68
21 代	1991年 7月～92年 6月	郡司 昌佳	佐藤 正一	68
22 代	1992年 7月～93年 6月	室井 行男	宮 利男	65
23 代	1993年 7月～94年 6月	福本 治夫	小池 一徳	65
24 代	1994年 7月～95年 6月	齋藤 豊吉	片柳 洋	64
25 代	1995年 7月～96年 6月	伊藤 義明	渡辺 邦男	71
26 代	1996年 7月～97年 6月	中里 正	塩川 美好	75

鈴木基一君



昭和47年11月7日

感謝状

1971年11月8日当クラブの創立総会が催されましたが この喜びはひとえにあなたの長期間に亘る御盡力の賜物でありました あなたは滝澤ガバナーの御指導を忠実且つ賢明に履行せられ 更にこれを見事に新クラブ内に生かし 加えて堀江特別代表はじめ大田原クラブの御援助を仰いで着々と基礎固めに専念せられました 初代会長の重責に対し文字通り献身的な奉仕を以て当られた御努力は 我がクラブある限り永く銘記されねばなりません

結成后オムやかに理想を明らかに広く内外に和を求めて正規の軌道にのせ 大いに聲價を高からしめた あなたの功績は高く賞讃されるべきであります

創立一周年を記念して心から感謝の意を表します

西那須野ロータリークラブ





藤森武雄君

昭和47年11月7日

感謝状

あなたは当クラブ初代幹事として結成当初の
混沌期より早くもリーダーの重責を担ひよく会
務を研鑽して運営の円滑をはかられました

殊に認証状伝達式に於てはこの大任を前後三
箇月に及ぶ晝夜分たぬ御盡力を以て完遂されま
した 当クラブの輝かしい誕生と首途にはあな
たの御奉仕におうところ真に大なるものがあり
ます

茲に創立一周年を記念してバッヂと記念品を
贈り感謝の意を表します

西那須野ロータリークラブ

直前会長
鈴木基一君



1973
昭和48年11月2日

西那須野RC会長 宮澤 勝

感謝状

貴君は西那須野RCの名譽ある初代会長であると共に、創立期の特例によって二代會長に再任せられ新クラブの基礎固める成就する上に一々絶大な推進力とされました。これらの事蹟を功績として数えるならばまことに枚挙のいとまもありません。

なかでも海外に姉妹クラブの親交を結び又大いに地域性の特色を生かして國際的交流に独特な方針を打ち出し、新クラブにして稀な聲価を高からしめたことは貴君の功業の最たるものでありましよう。これは致密な組織力と飛躍的な進歩性、及び寢食を忘れて盡力された情熱の高さに於て樹立せられた不滅の榮譽であります。

貴君にとって最も思い出深い二度目の創立記念日にあたりさ、やか乍ら記念品を贈り會員一同の敬愛をこめて感謝の意を表します。

感謝状



1973

昭和48年11月2日

直前幹事
小出正夫君

西那須野R.C.会長
宮澤

勝

貴君は創立后間もないわが西那須野R.C.の最も困難な時期に当って中二期幹事の重責をつとめられ、公私共に殊に多忙な身を以て献身的な努力と傾注されました。温厚質実な滋味と強固な責任感によって、能く会長と補佐すると共に会員相互の足なみを揃え、着々とその基礎固めに盡瘁せられました。チャーターナイトの残務に始まり記念レコードの頒布から逐次発展的な姿勢をとりつゝ、アメリカ海外教室の実行段階に至る間、その多彩な経過を美事に遂行されましたことは、貴君の御努力にまつ処まことに大なるものがあります。

創立2周年の記念日を迎えるに当り、貴君の御苦勞に対し記念品を贈呈して会員一同厚く感謝の意を表します。

第三期会長
宮澤 勝 君



1974年11月8日 549

感謝状

国際ロータリー第355地区
西那須野ロータリークラブ

貴君はわがクラブチャーターメンバーの重鎮として、鈴木創立会長が結成時の特例による一期留任のあとを受けて榮譽ある二人目の会長に選任されました。クラブとしては未だ基礎固めの段階を脱して居りませんが、又愈々本格的に行動を起さねばならぬ時機にも相当いたし其の運営は樂觀を許さぬ状況にありました。貴君の綿密慎重な和を尊ぶ言動と、強固な意志を以て貫く指導力とは、この至難な目的を見事に達成せられ余すところがありません。

はからずも國際的機縁を得て高校生のアメリカ海外教室を、類例稀なクラブ単独の事業として敢行し、これを更に次年度の交歓行事に進展せしめられたことは特筆すべき活躍であります。しかしこれも常に会員の団結と近隣の先輩クラブとの融和に深く留意して盡力された貴君の雅量におうところまことに甚大なるものがあります。

こゝに創立三周年の記念日にあたり特に貴君のすぐれた御努力に対しまして敬意をこめて厚く感謝の意を表します。

第三期幹事

小池保君

感謝状



1974年11月8日 S 49

国際ローターオ355地区
西那須野ロータークラブ

貴君は1973~74年度の幹事として活躍されました。

梨本幹事の轉勤により俄かにわがクラブ四人目の幹事に就任されたわけでありますが、よく宮澤会長を補佐し、職域及び公職の豊富な御体験を生かしてまことに層の厚い運営をして下されました。

いまだ日の浅いわがクラブとしては、基礎固めの段階でありまた一方にローターの使命に基づく会務の進展が求められる時期にありました。内には会員の増強をはかり親睦行事を励行して団結とクラブ意識の高揚に努め、外には社会奉仕を初め国際行事に飛躍した青少年育成事業を取行する等、内外共に多務多彩な会務を通じて終始熱心な御盡力を傾注して頂いたことは真に感謝に耐えません。

貴君の着実な実行力に対し深く敬意をさしげますと共に、心からその労を多といたします。

1974-75年度
西那須野R.C.会長

鈴木伊勢松君

国際ローター・オ355地区

西那須野ローター・クラブ



感謝状

貴君は わが西那須野R.C.オ四代会長に就任され 漸やく搖籃期を過ぎて奮辰段階に飛躍しようとする時期にあたり 最も重要な職責を果されました 貴君の寛やかな雅量と誠意に充ちた言動とは文字通り全会員の厚い信望を集め 能く数々の難業を成功に導かれました

殊に国際奉仕部門に於て バイセリアR.C.一行の訪日団を迎えた日米交歓の行事は 年度内最大の大事業でありましたが 予期に倍する成果を挙げて 急速に理解と親密のきづなを深めました これは又クラブレベルには オ355地区内唯一の長期交換留学生システムを盟約する機運をもたらし 爲に特色ある新鋭クラブの名を地区内外に高からしめ "価値ある行績のカバナー賞"受賞に輝やいたのであります

一方に於て鈴木基一会員の資料集収に成るR情報の年間總括誌『ローター・心のかげはし』を出版 クラブの向上と愈々ローター・理念の高揚に寄與せられました

この輝やかしき業績は実に貴君の誠実な努力が全会員の惜しみなき協力を結晶せしめた賜ものであります われ等は貴君の御奉仕を高く讃え 茲に篤く感謝の意を表します

昭和50年12月16日

1974～'75年度

幹事

郡司昌佳君

国際ローターオ355地区

西那須野ロータークラブ



感謝状

貴君は1974～75年度の幹事として鈴木伊勢松会長と補佐し吾がクラブの記念すべき飛躍の年にその大任を果されました。バイセリアR.C.一行の訪日団歓迎行事に始まる貴君の担当年度は正に困難と多忙の連続でありました。しかし貴君の健康な若々しい実行力と優れた奉仕の精神は、その俊敏な処理能力と相まって常に明るく活動的運営を実施されました。

国際奉仕部門に於ける業績賞と共に出席優秀クラブとしての受賞があることは特色發揮に一边倒の変則的な歩みではなく正常な運営に充分考慮が払われた証左でありまた高度の団結力を示すものであります。これらは貴君の周到な準備と明朗な運転におうところ真に大なるものがあります。

その労を多とし功績を賞讃いたしまして篤く感謝の意を表します。

昭和50年12月16日

1975～1976年度会長

草野栄龍君

1977年1月23日

感謝状



国際ローター第355地区
西那須野ローター西那須野
ローターローター
会長 小池小池

貴君はわがクラブ チャーターメンバーの重鎮として榮譽ある第五代の会長に選任されました。クラブとしては発足当初より他クラブと異なつた国際奉仕に重真をおき三期会長時の高校生のアメリカ海外教室に始まり 四期会長の時真ではアメリカ バイセリアRCの訪日団を迎へ 時の副会長として よく会長を補佐し輝かしい日米親善の道を大きくし 続いて第五期会長に選任されるや 前会長の計画された日米交換学生の実現に對して貴君の綿密慎重な和を尊ぶ言動と強固な意志を以つて貫く指導力により 此の至難な目的を見事に達成せられ類例稀なクラブ単独事業として敢行し 日米間のパイプをより大きくすることに進展せしめられたことは特筆すべき活躍であります

これも常に會員の団結と近隣の先輩クラブとの融和に染く留意して盡力された貴君の雅量におうところ真に甚大なるものがあります。ここに創立五週年の記念式にあたり特に貴君のすぐれた御努力に對しまして敬意をこめて厚く感謝の意を表します

1975~1976年度幹事

1977年1月23日

古山 正君



国際ロータリー第355地区
西那須野ロータリークラブ
会長 小池 保

感謝状

貴君はわがクラブの榮譽ある六人目の幹事に就任されたわけでありますが、よく草野会長を補佐し職域上の体験を生かして、まことに層の厚い運営をして下されました。

いまだ日の浅いわがクラブとしては基礎固めの段階であり、また一方にロータリーの使命に基づく会務の進展が求められる時期にあり、内には会員の増強をはかり親睦行事を励行して団結とクラブ意識の高揚に努め、外には社会奉仕を初め会の計画である国際奉仕中、日米交換学生の事業等を敢行する等、内外共に多勢多彩な会務を通じて終始熱心な御盡力を傾注して着実な実行に對し深く敬意をささげますと共に心からその労を多とし、ここに創立五週年の記念式にあたり厚く感謝の意を表します。